

伊勢市立東大淀小
学校だより

くすのき



令和7年度 NO. 43

ホームページ <http://www.ise-mie.ed.jp/~higasioizu-e/>

令和8年3月25日 編集・発行 東大淀小学校 松本 栄

それぞれの思いを胸に、次のステージへ

3月19日、春の光が降り注ぐ中、卒業証書授与式を挙行政いたしました。14名の卒業生は、6年間の思い出と未来への希望を胸に、堂々と本校を巣立っていきました。卒業生がこれから歩む道において、自分らしさを発揮し、精いっぱい生きていけるよう心から願っています。これまで子どもたちを温かく支えてくださった保護者の皆様、地域の皆様、本当にありがとうございました。

卒業式では、在校生の態度も実に立派でした。会場に響き渡る大きな歌声、心のこもった呼びかけ、そして凜とした佇まい。卒業生・在校生、その場にいた全員に大きな拍手を送りたいと思います。

卒業式が終わり、学校では早くも新しい風が吹いています。毎朝の登校の様子を見ると、これまで後ろを歩いていた5年生が通学団の先頭と最後尾に陣取っています。下級生を上級生が挟み、安全を守ろうとする責任感の表れです。

また、先日行われた令和8年度前期児童会役員選挙では、定員5名に対し、なんと13名もの立候補がありました。3年生からも多数の立候補があり、「自分たちの手で学校をよくしたい」という熱意が溢れています。

6年生の背中を見て育った子どもたちが、「今度は自分たちが」という強い気持ちで東大淀小学校を引っ張ろうとしてくれている姿は、非常に頼もしく、うれしい限りです。

1年生は2年生に、2年生は3年生に。子どもたちはそれぞれ、新しいステージへと向かっています。どの学年の子も、それぞれの場所で精いっぱい輝けるよう、職員一同これからも全力で応援してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様、この一年間、本校の教育活動への多大なるご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。来年度も、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

通知表の「見方」と「活かし方」

本日、お子さんに通知表をお渡ししました。通知表は、お子さんの成長の足跡であるとともに、これからの学びをより良くするための大切な道しるべです。ご家庭でご覧になる際は、以下のポイントをご確認ください。

1 評価の仕組みについて

今学期の評価は、これまでの学期とは少し仕組みが異なります。

- 学年末の総括評価：3学期の通知表の評価は、3学期単独のものではなく、1年間を通しての総合的な評価となっています。
- 年間での文章記述・評価：「特別の教科 道徳」「総合的な学習の時間」「外国語活動」については、年間を通じた成長の様子を評価しています。



2 ご家庭での声かけのヒント

通知表で最も大切なことは、お子さん自身が「自分の頑張り」と「これからの課題」を正しく知ることです。ぜひ、次のようなステップで温かい声かけをお願いします。

- ① まずは具体的に認め、褒める 「◎がたくさんあって良かったね」という結果だけでなく、「〇〇の分野が『よくできる』だね。授業中、進んで発表していた成果だね！」と、努力のプロセスを具体的に褒めてあげてください。
- ② 次の目標を一緒に見つける もし「がんばろう(△)」があっても、それは伸びしろがある証拠です。「ここが『がんばろう』だったね。次はここを意識してみようか」と、新しい学年や学期に向けた前向きな作戦会議をしてみてください。

通知表は、お子さんの可能性を広げるためのツールです。ご家庭でも、お子さんの頑張りをしっかりと受け止め、次の一步に繋がる励ましをお願いいたします。